

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業一覧(事業実績及び効果検証)

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
1	感染症対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な資材の購入等を行うもの ②妊婦、小中学生等への配付に伴うマスクの購入、医療従事者用防護服の購入ほか ③消耗品費12,377千円(マスク20万枚、防護服400セットほか)、医薬材料費1,012千円(手指消毒剤300本ほか)、郵便料570千円(マスク配布) ④-	R2.4.28	R3.3.31	13,967,599	13,959,000	消耗品費 感染症対策用マスク、アクリルパーテーション等 12,154,741円 印刷製本費 コロナ感染拡大防止対策ステッカー 66,000円 医薬材料費 手指消毒剤 495,000円 郵便料 感染予防マスク配布用 455,808円 委託料 コロナ感染拡大防止対策ステッカー制作 68,750円 備品購入費 来庁者用サーマルセンサー等 727,300円	マスク配布により感染症予防へ取り組みとともに、市民への意識づけのきっかけを作った。また、手指消毒の徹底が図られるようになった。アクリルパーテーションの設置により、市庁舎での感染拡大防止に努めた。新しい生活様式の認知度アップにつながった。感染拡大防止対策ステッカーの配布は事業者の感染防止への取り組みの向上に寄与した。	保健医療課 総務課
2	中小企業制度融資資金保証料負担金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経営環境のさらなる悪化に備えた市内事業者の資金借入れに対応するために市制度融資の拡充を行うにあたり、市の保証料負担金を追加するもの ②市制度融資の拡充に伴う保証料負担金の追加 ③保証料負担金11,147千円 ④佐賀県信用保証協会	R2.4.28	R3.2.10	4,779,682	4,779,682	事業実績(2020年全体) 融資件数 29件(95件) 融資額 166,790,000円(437,170,000円) 保証料負担額 6,863,274円(12,875,133円)	金融機関に聞き取りを行った結果、資金繰り対策として国や県の融資制度の適用とは別枠で、市内中小企業者の設備資金・運転資金の借入れの円滑化と経営の安定化につなげることができた。	商工振興課
3	観光産業持続化支援助成金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上が大幅に減少している観光産業の基盤を支えるため、助成金を交付するもの ②観光産業の基盤である宿泊業及び飲食業の事業継続の意思がある事業者に対する持続化助成金 ③宿泊業持続化支援助成金39,000千円(上限50万円×78事業者)、飲食業持続化支援助成金156,400千円(上限20万円×782事業者)、事務費1,624千円 ④宿泊業持続化支援助成金:市内の旅館、ホテル及び簡易宿所。飲食業持続化支援助成金:市内の飲食店	R2.4.28	R2.12.25	174,765,695	174,765,695	助成金支払件数 宿泊施設 66事業者 飲食店 693事業者 助成金額 宿泊施設 31,372,968円 飲食店 141,816,123円 事務経費 1,576,604円	コロナ禍における一時的な経営支援につながった。商工団体へのアンケート調査結果によると、タイムリーな対応であったとの評価であった。	観光文化課
4	中小企業・小規模企業者応援助成金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営がひっ迫しながらも事業継続に努める中小企業者・小規模企業者を応援するため、助成金を交付するもの ②事業継続の意思がある事業者に対する助成金 ③助成金800,000千円(上限20万円×4,000事業者)、事務費5,667千円 ④市内に主たる事業所を有する中小・小規模企業者(宿泊業者及び飲食業者を除く)	R2.6.2	R2.10.30	322,683,318	305,665,318	助成実績 件数 1,693事業者 助成額 319,569,045円 地区別内訳(件数)【金額】 唐津(1,081)【204,204,495】 浜玉(159)【29,686,540】 厳木(43)【8,163,026】 相知(74)【14,394,106】 北波多(53)【9,608,197】 肥前(82)【15,538,162】 鎮西(77)【14,306,498】 呼子(104)【19,959,523】 七山(20)【3,708,498】 事務経費 3,114,273円	コロナ禍における一時的な経営支援につながった。加算助成金、応援助成金と合わせた形で商工団体の各部会へアンケート調査を行ったところ、幅広い業種が対象であったこと、影響を受けた直ぐの対応がタイムリーであったことを評価された。	商工振興課
5	「TAKE OUTからつ」支援補助金	①新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」への対応を市民の力で応援するため、テイクアウト事業に取り組む飲食店の割引券発行に対して補助を行うもの ②飲食店が発行する次回利用できる割引券の割引額(割引額は販売額の5割を上限とする)を交付対象経費とする。 ③補助金額10万円(上限額)×200店舗 ④「TAKE OUTからつ」のウェブサイトに登録してテイクアウト事業に取り組む市内飲食店	R2.6.2	R2.11.20	7,646,285	7,646,285	参加店舗 121店舗(申請数116件) 地区別内訳 唐津(80) 浜玉(8) 七山(2) 厳木(2) 相知(3) 北波多(4) 肥前(4) 鎮西(16) 呼子(2) 実績 割引額(執行額) 7,646,285円 対象メニュー売上額 25,734,189円	テイクアウト需要の喚起や販売促進が図られ、事業継続のための固定経費の捻出とコロナ禍における一時的な業態転換のための支援につながった。TAKEOUTからつのサイトや市HP、全世界配布チラシなどでの情報発信効果もあり、今まで知られていない店舗を市民が知るきっかけとなった。参加店舗においては、新規顧客やリピーターの増加につながった。	観光文化課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
6	タクシーニューサービス支援補助金	①新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」への対応を市民の力で応援するため、タクシー事業者が試験的に取り組む、買い物代行などの役務の提供事業(ニューサービス事業)に対して補助を行うもの。 ②タクシーによる役務の提供事業の役務提供1回ごとに初乗り運賃相当額を交付対象経費とする ③1,000千円(上限額)×7事業所 ④市内のタクシー事業者(7事業所)	R2.6.2	R2.11.10	274,000	274,000	参加事業者 5事業者 実績 ニューサービス利用回数 380回	当初計画と比べ、事業者数と予算執行率が低くなったものの、5社で380回と一定の利用ニーズがあった。 観光施策としては課題が残る結果であったが、事業終了後に利用に関する問い合わせも寄せられ、他の施策での活用に先駆けた社会実験としての利用ニーズの把握につながった。(国においては、特別措置法の延長を実施)	観光文化課
7	花き生産次期作支援助成金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により需要が減退し、経営が圧迫されている花き生産者の営業継続を図るため、次期作に向けた活動を支援するもの ②営農継続の意思がある花き生産者に対する次期作支援助成金 ③市単独分1,860千円・露地花きの次期作に要する経費(種苗費など)10a当たり5万円支援(想定面積372a) 交付金対象外(県事業分10,435千円):施設花きの品目に応じた次期作に要する経費(種苗費など)10a当たり5万円、10万円又は40万円支援(想定面積1,739a) ④3月～8月に対象品目を出荷する市内農業者	R2.7.1	R3.2.25	5,475,000	1,140,000	補助件数 31件 補助金額 5,475,000円 (内訳) 施設バラ・ユリ・カーネーション 4件 81a 810,000円 上記以外の施設花き(胡蝶蘭除く) 28件 705a 3,525,000円 露地花き 8件 228a 1,140,000円	新型コロナウイルス感染症の発生により影響を受けた花き生産農家に対し、次期作に向けた作付け等の取組みへの支援を行ったことで、花き販売単価の急落によって営農継続意欲が減退し離農も含めて検討していた生産者が、感染症拡大に負けず前を向いて花き生産・農業経営の継続を図っていく意欲が高まり、産地の維持に繋がった。	農政課
8	水産物市場取引価格差支援補助金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により魚介類の取引価格が下落し、経営が圧迫されている漁業者への支援を行うことで、漁業経営の安定及び市の水産業の持続を図るもの ②6月～7月の市場に出荷した魚種のうち、単価下落が大きい魚種の取引価格差を交付対象とする ③補助金額70千円(上限額 1月当たり35千円)×漁業者数約340人、事務費136千円 ④市内漁業協同組合の正組合員	R2.6.28	R2.9.30	1,964,393	1,964,393	正組合員数 577人 うち申請数 226件 補助金額 1,964,393円 漁協内訳 申請数 漁協補助(内漁協事務費) 佐賀玄海漁業協同組合 210件 1,865,672円 (42,000円) 屋形石漁業協同組合 6件 17,399円 (1,200円) 大浦浜漁業協同組合 10件 81,322円 (2,000円) 合計 226件 1,964,393円 (45,200円)	アンケート調査を実施した結果、総合的にみて漁業者へ良い影響があり、漁業者の持続的な漁業活動への意欲の維持に繋がった。 当該補助金は、出荷したあらゆる魚種を対象としており、広範囲に漁業者へ補助するものであるため、漁業者からは、事業に対して高い評価を得た。	水産課
9	観光産業キャッシュレス決済促進事業	①新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」への対応のために必要なキャッシュレス決済の導入を促進するとともに、感染症拡大の影響により経営がひっ迫している観光事業者を市民の力で応援するため、キャッシュレス決済時に消費者へのポイント還元を行うもの ②ポイント還元費(還元率:キャッシュレス決済で購入した額の2割相当額)・還元対象店舗等:市内の観光関連店舗及びサービス業)、販促費 ③ポイント還元費10,000千円、販促費2,200千円 ④-	R2.6.28	R2.9.30	5,866,530	5,866,530	参加店舗数 542店舗(複数保持の店舗も有り) 還元ポイント 5,370,065円相当 決済回数 11,453回(決済額 約3,900万円) 新規導入 170店舗 事務経費 496,465円	キャンペーン実施日の決済回数は、前月比257%増とキャッシュレス決済の利用促進が図られた。 7月の事業着手時点から8月のキャンペーン開始までに170店舗が新規導入を行っており、キャッシュレス決済の普及促進につながった。 利用者の3分の2は市外からの利用であり、消費促進にもつながった。 他自治体に先駆けて実施したことで、合同記者発表への参加などメディア露出も多く、宣伝・広告費を最小限に抑え、高い効果を得ることができた。	観光文化課
10	唐津宿泊促進キャンペーン補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込みが続く観光産業の回復に向け、観光宿泊客の誘客と域内観光消費の喚起のために市内観光事業者が取り組む宿泊促進キャンペーン事業に対して補助を行うもの ②(ア) 定額特価宿泊プランの提供(通常価格の半額を市が支援、最大20,000人泊分)、(イ) (ア)のプラン利用者への市内限定半額割引券の提供(1人1泊につき5,000円相当額分を市が支援、最大20,000人泊分)、(ウ) 市民専用特典の提供(1人1泊につき5,000円分の食事券を市が支援、1,000人泊分) ③(ア) 定額特価宿泊プランの提供107,500千円、(イ) 市内限定半額割引券の提供100,000千円、(ウ) 市民専用特典食事券の提供5,000千円、(I) 事務費16,911千円 ④唐津市旅館協同組合(キャンペーン参加宿泊施設:市内63施設予定)	R2.7.22	R3.2.1	182,756,526	182,756,526	参加者数 宿泊施設 46施設 飲食店 106店舗、土産処 100店舗、体験 21事業者 宿泊実績 16,454人泊 宿泊補填額 93,252,500円 宿泊消費総額 186,505,000円 市民割実績 921人泊 4,605,000円 割引実績 利用額 71,226,000円 事務経費 決済額 142,452,000円以上 13,673,026円	GOTOトラベルや県施策との住み分けや連動を図ることができ、実施時期も最適であったことから、予約段階では、予算額に到達するなど、宿泊促進策としての高い効果が得られた。 宿泊施設を中心に飲食や土産処などへの波及効果が得られた結果となり、観光事業者の短期的な支援につながった。	観光文化課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
11	避難場所新型コロナウイルス感染症対策事業	①避難場所(避難所)における感染症対策に必要な資機材の整備を行うもの ②パーテーション、簡易ベッド及び簡易トイレの整備、消毒液等保健衛生用品の整備、防災倉庫の整備 ③パーテーション、簡易ベッド及び簡易トイレの整備51,454千円(ワケツバパーテーション360組、段ボール間仕切り290組、屋根付きパパーテーション40組、アルミ製多目的簡易ベッド680台、段ボール防災畳マット570式、簡易トイレ40式ほか)、消毒液等保健衛生用品の整備2,771千円(マスク12,000枚、フェイスシールド2,000個、使い捨て手袋8,000枚、アルコール手指消毒液ほか)、防災倉庫の整備8,250千円(市内3箇所) ④-	R2.7.22	R3.3.31	62,455,696	62,455,696	消耗品費 3,161,626円 ペーパータオル、手袋、次亜塩素酸ソーダ液、段ボール製間仕切り、段ボールベッド、ハンドソープ、蓋付きごみ箱、フェイスシールド、マスク、アルコール、養生テープ、簡易トイレ消耗品など 備品購入費 59,294,070円 災害対策用プライベートルーム40個、段ボール間仕切り290個、簡易トイレ40個、フックタッチパーテーション360個、防災畳ベッドセット570個、アルミ防災倉庫3個、簡易ベッド680個、モバイルバッテリー	パーテーションや簡易ベッド等の感染症対策の資機材及び消耗品を整備したことで感染拡大防止対策を講じた避難場所を開設することができ、避難者の安心につながった。 また、アルミ防災倉庫を設置することで、分散配備がすることができ、迅速な避難場所開設ができる体制を取ることができた。 【配備状況】 1次避難場所には配備済。2、3次避難場所にも順次分散配備。 (唐津市内避難場所:1次開設(21箇所)、2次開設・3次開設(21箇所)) 計42箇所	危機管理防災課
12	教育支援体制整備事業費補助金	(スクール・サポート・スタッフの配置) ①新型コロナウイルス感染症対策の強化に伴う教員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを配置するもの ②スクール・サポート・スタッフの報酬 ③スクール・サポート・スタッフの報酬25人分(1日4時間×週5日勤務。配置校29校)時給864円×4時間×141日×25人 ④-	R2.7.22	R3.3.31	9,923,904	3,969,904	スクール・サポート・スタッフの配置(29校25人) 配置校 外町小、長松小、西唐津小、佐志小、鏡山小、久里小、鬼塚小、湊小、成和小、大志小、浜崎小、菟木小、相知小、北波多小、入野小、田野小、名護屋小、打上小、呼子小、七山小、第一中、佐志中、鏡中、鬼塚中、西唐津中、浜玉中、相知中、肥前中、七山中 ※外町小と鏡中、菟木小と相知中、入野小と田野小、七山小と七山中は2校に1人配置 実績額 報酬 9,923,904円	学校内の消毒や児童生徒の健康状態の確認、教材の準備等、感染症対策のための業務に従事するスクール・サポート・スタッフを配置することで、学校現場で純増した感染症対策に係る業務の約4割を軽減させ、教員が子供の学びに注力できる体制を整えることができた。	学校支援課
13	スクール・サポート・スタッフ配置事業	①新型コロナウイルス感染症対策の強化に伴う教員の業務負担の軽減を図るため、スクール・サポート・スタッフを配置するもの ②スクール・サポート・スタッフの費用弁償及び雇用保険料 ③スクール・サポート・スタッフの費用弁償及び雇用保険料25人分(1日4時間×週5日勤務。配置校29校)通勤手当7,100円×7月×25日+雇用保険料120,824円 ④-	R2.7.22	R3.3.31	400,190	400,190	スクール・サポート・スタッフの配置(29校25人) 配置校 外町小、長松小、西唐津小、佐志小、鏡山小、久里小、鬼塚小、湊小、成和小、大志小、浜崎小、菟木小、相知小、北波多小、入野小、田野小、名護屋小、打上小、呼子小、七山小、第一中、佐志中、鏡中、鬼塚中、西唐津中、浜玉中、相知中、肥前中、七山中 ※外町小と鏡中、菟木小と相知中、入野小と田野小、七山小と七山中は2校に1人配置 実績額 費用弁償 400,190円	学校内の消毒や児童生徒の健康状態の確認、教材の準備等、感染症対策のための業務に従事するスクール・サポート・スタッフを配置することで、学校現場で純増した感染症対策に係る業務の約4割を軽減させ、教員が子供の学びに注力できる体制を整えることができた。	学校支援課
14	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①小学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化や児童の学習保障に必要な資機材を整備するもの ②感染症対策のためのマスク等購入支援事業、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 ③感染症対策のためのマスク等購入支援事業2,291千円(小学校34校分のマスク、消毒液、体温計、手袋、除菌シートほか)、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業39,500千円(小学校34校分の学校机用飛沫防止ガード3,186枚、教師用フェイスシールド626枚、保健室用加湿空気清浄機、携帯用アルコール、学習保障のための用紙・プリンターほか) ④-	R2.4.1	R3.3.31	35,675,956	17,752,179	対象校 唐津市立小学校全34校(分校含む) 実績額 消耗品費 16,217,020円 備品購入費 19,458,936円 購入物品(代表例) 保健衛生用品 アルコール消毒液、学校机飛沫防止ガード、サーマルカメラ 学習保障用品 再生紙(家庭学習用)、大型モニター	アルコール消毒液を整備したことにより、手指や共用物品の消毒を習慣化し、学校における感染症対策に努めた。また、学校内で感染者が出た場合においても、速やかに消毒作業を行い、感染拡大防止につながった。 学校机飛沫防止ガードを整備したことにより、授業や給食の時間のような飛沫が飛びやすい時間においても、安心して学校生活を送ることができた。 サーマルカメラを学校入口に設置することにより、児童、教職員、来校者の体温を確認し、感染の疑いがある者の校舎内への立ち入りを防ぐことができた。 再生紙や大型モニターを整備することにより、登校できない場合においても、充実した家庭学習を行い、児童の学びの保障につながった。	学校支援課
15	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①中学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化や生徒の学習保障に必要な資機材を整備するもの ②感染症対策のためのマスク等購入支援事業、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業 ③感染症対策のためのマスク等購入支援事業1,063千円(中学校19校分のマスク、消毒液、体温計、手袋、除菌シートほか)、学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業21,500千円(中学校19校分の学校机用飛沫防止ガード3,186枚、教師用フェイスシールド372枚、保健室用加湿空気清浄機、携帯用アルコール、学習保障のための用紙・プリンターほか) ④-	R2.4.1	R3.3.31	17,524,168	8,719,821	対象校 唐津市立市立中学校全19校(分校含む) 実績額 消耗品費 6,152,299円 備品購入費11,371,869円 購入物品(代表例) 保健衛生用品 アルコール消毒液、学校机飛沫防止ガード、サーマルカメラ 学習保障用品 再生紙(家庭学習用)、大型モニター	アルコール消毒液を整備したことにより、手指や共用物品の消毒を習慣化し、学校における感染症対策に努めた。また、学校内で感染者が出た場合においても、速やかに消毒作業を行い、感染拡大防止につながった。 学校机飛沫防止ガードを整備したことにより、授業や給食の時間のような飛沫が飛びやすい時間においても、安心して学校生活を送ることができた。 サーマルカメラを学校入口に設置することにより、生徒、教職員、来校者の体温を確認し、感染の疑いがある者の校舎内への立ち入りを防ぐことができた。 再生紙や大型モニターを整備することにより、登校できない場合においても、充実した家庭学習を行い、生徒の学びの保障につながった。	学校支援課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
16	コンビニ交付導入事業	①マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末(マルチコピー機)で住民票、印鑑登録証明書、戸籍証明書、所得証明書等の交付を実施するため、システムの構築を行うもの ②システムの構築費用 ③証明発行サーバ構築(戸籍システム改修)16,346千円、住基・税データの証明発行サーバへの移行・連携(総合行政システム改修)5,500千円、システム構築検査に係る事務費122千円 ④-	R2.9.25	R3.10.25	21,962,880	21,846,000	証明発行サーバ構築 16,346,000円 住基・税データの証明発行サーバへの移行・連携 5,500,000円	コンビニ交付の利用件数は月を追うごとに増加しており、市役所の待合所に滞留する時間や対面交付の機会が減少することで感染リスクを減らすことにつながった。 令和3年度コンビニ交付利用件数(R3.10.25稼働) 3,022件(窓口を含む証明発行件数のうち2.9%)	市民課
17	指定管理者支援事業	①新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、市の休館の要請等に協力した指定管理者に対し、支援を行うことにより、施設の円滑な管理運営を継続するもの ②今後の施設の管理運営の維持管理委託料 ③今後の施設の管理運営の維持管理委託料 57,780千円 ④指定管理者(17施設)	R2.9.25	R2.12.10	57,508,346	57,508,346	【支援実績】 17施設 57,508,346円 浜玉町世代間交流センター「やすらぎ荘」 2,640,095円 おうち天徳の湯 3,171,500円 肥前町福祉センター 1,272,427円 呼子交流促進施設 183,130円 高齢者ふれあい会館 349,860円 玄海海中展望塔 3,275,868円 名護屋城茶苑「海月」 151,085円 桃山天上市 6,156,804円 蘇木温泉佐用姫の湯 2,333,369円 蘇木特産品等展示販売施設「風のふるさと館」 6,766,240円 鳴神温泉なのゆ 13,734,392円 ロフティ七山 948,587円 呼子台場都市漁村交流施設 9,519,025円 東城内駐車場 3,489,465円 材木町駐車場 1,301,062円 臨港駐車場 1,837,831円 唐津みなと交流センター 377,606円	国の緊急事態宣言に伴い行った施設の休館要請に応じた指定管理者の利用料金等収入の減少に対し行った今回の支援について、支援を行った指定管理者に聞き取りを行ったところ、従業員の解雇の回避・雇用確保のための費用に充てることができた。滞りかけていた支払を行うことができ、減収による資金不足の解消につながったなどの意見があり、支援の目的である施設の管理運営の継続、円滑化が一足前進することができた。	行政改革課
18	地域共生ステーション感染症対策助成金	①地域共生ステーションに対し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に要した費用の負担軽減及び事業の継続を支援するため、助成金を交付するもの ②新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を実施し、事業継続の意思がある事業者に対する助成金 ③助成金7,800千円(1施設当たり20万円×39施設) ④地域共生ステーション39施設	R2.9.25	R3.3.19	7,200,000	7,200,000	申請件数 36施設(23法人) 助成金額 36施設×20,000円=7,200,000円 購入品等 消毒液、マスク、手袋、空気清浄機など	感染対策に必要な消耗品の高騰で購入を躊躇していたが、補充することができ安心して利用者のケアにあたることができ、大変助かったという回答を得た。 トイレ水道の蛇口を非接触に替えることで、接触を避けるための対策ができ、職員の負担軽減にもつながった。 消毒作業の時間外手当てに充てることができ感染予防にかかる施設の負担軽減にもつながった。 施設内の消毒等の徹底を行い感染予防につながった。	高齢者支援課
19	就労継続支援事業所持統化支援助成金	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている就労継続支援事業所の継続的な生産活動の確保に向けた取組みを支援し、事業所運営の維持と利用者の収入確保を図るため、助成金を交付するもの ②事業継続の意思がある事業者に対する助成金 ③助成金3,400千円(1施設当たり20万円×17事業所) ④就労継続支援事業所17事業所	R2.9.25	R3.3.30	2,800,000	2,800,000	助成金合計 2,800,000円 (内訳) 200,000円×市内14事業所 就労継続支援A型1事業所、就労継続支援B型13事業所	就労継続支援事業所における利用者賃金(A型)及び利用者工賃(B型)は、就労支援事業活動により得た収入から必要経費を控除した額により利用者へ支払わなければならないように定められている。 今回、各事業所の必要経費や新たな活動に伴う経費に助成金を利用してもらうことにより、利用者への賃金、工賃の分配額を確保してもらうことができた。またB型事業所においては、利用者の平均工賃金額が次年度以降の障害福祉サービス請求単位の反映される仕組みとなっているため、コロナ禍において平均工賃額を落とさないための事業所の取り組みを支援し、事業所運営の安定に繋げることができた。	障がい者支援課
20	保育所等感染症拡大防止対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、保育所等において必要な保健衛生用品の整備及び感染症対策に係る人件費等の経費について補助金を交付するもの ②保健衛生用品等の購入、感染症対策に係る人件費等の経費 ③感染症拡大防止対策補助金(利用定員100人以上150人未満の施設:1施設当たり125千円を上限に補助(7施設)、利用定員150人以上200人未満の施設:1施設当たり250千円を上限に補助(7施設)、利用定員200人以上の施設:1施設当たり500千円を上限に補助(4施設) ④保育所等18施設	R2.9.25	R3.5.25	4,546,000	4,546,000	補助件数 18件 補助金額 4,546,000円	施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止に必要なマスク等の衛生用品購入の支援を行うことができた。 施設の定員規模で補助金額に差を設けることにより、大規模施設に対し効果的に支援を行うことができた。	子育て支援課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
21	からつの赤ちゃん臨時特別給付金	①新型コロナウイルス感染症の影響により、出産後の経済的負担や子育てに不安を抱える子育て世帯を支援するため、国の特別定額給付金の対象とならなかった乳児に対して、臨時の出生給付金を給付するもの ②国の特別定額給付金の対象とならなかった乳児に対する臨時の出生給付金 ③給付金86,500千円(乳児1人当たり100千円×865人)、事務費406千円 ④令和2年4月28日から令和3年4月1日までに生まれ、出生届または転入届により本市に住民登録した乳児865人	R2.9.25	R3.6.18	81,508,134	81,507,788	申請件数 813件 事業費総額 81,508,134円 (内訳) 給付金額:81,300,000円 事務費:208,134円	アンケート結果より、当給付金の満足度については、9割以上が「満足している」という結果となった。 先行きの見えないコロナ禍において、出産後の経済的負担や子育てに不安を抱える子育て世帯の支援として一定の効果があったものとする。	子育て支援課
22	漁業経営応援補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により経営が圧迫されている漁業者への支援として、漁業活動に要した経費に対し補助することで、漁業経営の安定及び市の水産業の持続を図るもの ②6月～12月の漁業活動に要した経費の9/10を交付対象とする ③漁業者応援補助金116,000千円(上限額 1人当たり200千円×漁業者数580人)、事務費2,401千円 ④市内漁業協同組合の正組員	R2.9.25	R3.3.31	92,244,501	92,244,501	正組員数 577人 申請数 527件 決 算 額 92,244,501円 漁協内訳 申請数 漁協補助(内漁協事業推進費) 佐賀玄海漁業協同組合 426件 74,946,105円 (1,401千円) 屋形石漁業協同組合 22件 2,106,690円 (81千円) 大浦浜漁業協同組合 24件 4,472,601円 (81千円) 小川島漁業協同組合 55件 10,194,065円 (168千円) 合 計 527件 91,719,461円 (1,731千円) 事務経費 525,040円	アンケート調査を実施した結果、総合的にみて漁業者へ良い影響があり、漁業者の持続的な漁業活動への意欲の維持に繋がったと考えられる。 漁業活動を継続するうえで必要な漁業経費全般への補助であり、漁業者からは、事業に対して高い評価を得た。 漁協職員からも、「漁業者にとって助かった」との声をいただいた。	水産課
23	中小・小規模企業者新しい生活様式対応支援補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の維持の両立を図るため、市民が安心して利用できる店づくり、安心して仕事ができる事業所づくりとして「新しい生活様式」に対応する取組みに対し補助金を交付するもの ②「店舗や事務所等の感染症防止対策のための改修工事や設備導入等の取組み」、「新しい生活様式」に対応する新業態への取組みに係る経費の9/10を交付対象とする ③新しい生活様式対応支援補助金100,000千円(上限額 1事業所当たり1,000千円×100事業所分)、事務費3,404千円 ④市内に事業所を有する中小・小規模企業者	R2.9.25	R3.4.30	102,047,777	102,047,777	【地区別内訳】(件数) 唐津(76)浜玉(22)厳木(5)相知(7)北波多(1)肥前(5)鎮西(5) 呼子(5)七山(2) 計(128) 【業種別内訳】 飲食店業(41)卸売・小売業(23)サービス業(19)建設業(18) 製造業(10)医療・福祉(5)宿泊業(3)その他(9) 計(128) 【補助金額】99,602,000円 事務経費 2,445,777円	GoToEat施策が始まるタイミングであり、飲食店からの反響は大きかった。 自己資金による感染防止対策ができない事業者からは思い切った対策ができ、助かりましたとの声があった。 市内事業者に依頼するような制度設計をしていたため、市内経済の刺激に繋がった。 ECサイトやテイクアウトへの業態転換の支援につながった。	商工振興課
24	唐津城感染症対策事業	①新型コロナウイルス感染症対策に必要な機器を整備するもの ②入館者用自動検温装置整備費 ③入館者用自動検温装置整備費1,318千円(唐津城2台) ④-	R2.9.25	R2.12.28	433,400	433,400	唐津城天守閣 入館者用自動検温装置 1台 216,700円 舞鶴公園エレベーター 入館者用自動検温装置 1台 216,700円	令和2年12月末に設置し、唐津城入場者とエレベーター利用者に対し検温を実施。 自動検温機を設置したことで、唐津城、エレベーター共にスムーズな入場が可能となった。	観光文化施設課
25	文化芸術振興費補助金	(文化施設の感染症防止対策事業) ①新型コロナウイルス感染症対策に必要な機器を整備するもの ②赤外線カメラ装置、入館者用自動検温装置整備費 ③赤外線カメラ装置整備費979千円(市民会館1台)、入館者用自動検温装置整備費1,318千円(曳山展示場、旧高取邸各1台) ④-	R2.9.25	R2.12.18	957,000	479,000	唐津市民会館 赤外線カメラ装置 1台 583,000円 曳山展示場 入館者用自動検温装置 1台 187,000円 旧高取邸 入館者用自動検温装置 1台 187,000円	唐津市民会館は、市内で唯一1,000人規模のホールであり、非接触型のサーモグラフィー機器を設置したことにより、大人数のイベントの実施を来館者の安全を確保しながら実施することができた。 観光施設である曳山展示場についてもコロナ禍の中、観光客の来訪が回復傾向にあり、不特定多数の観光客の中から発熱者を事前に検知し、来館者の安全確保することができた。 国指定重要文化財旧高取邸は、コロナ禍の中において観光客の来訪が若干の回復傾向にあり、不特定多数の観光客の中から発熱者を事前に検知し、来館者の安全確保することができた。	観光文化施設課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
26	新型コロナウイルス感染症対策緊急雇用事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、解雇や雇止めなど 就労機会を失った方などに対し、雇用を創出し、地域経済や生活の支援を行うもの ②新規雇用者(雇用予定者15人)の件数 ほか ③委託料40,500千円(事業者に雇用を含め業務を委託)。新規雇用者の業務は、道路敷の草刈、側溝の浚渫、軽作業補助等 ④解雇や雇止めなど就労機会を失った市民	R2.9.25	R3.3.23	35,811,600	35,811,600	契約額 35,811,600円 新規雇用者数 23人 内訳 東部(唐津東部、浜玉、厳木、七山) 13,497,000円、5人 中部(唐津中部、相知、北波多) 12,546,600円、5人 西部その1(唐津西部、肥前) 6,842,000円、8人 西部その2(鎮西、呼子) 2,926,000円、5人 作業路線数:57路線 (東部:23、中部:19、西部その1:12、西部その2:3)	コロナ禍による失職者に就労機会を提供し収入を確保することにより、地域経済の持続や生活の支援に一定の効果があった。	道路河川管理課
27	救急救命用感染防護資器材整備事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために救急隊の活動において必要な感染防護資器材を整備するもの ②救急車内感染防護用フード、感染防止衣の購入 ほか ③救急車内感染防護用フード429千円(10セット)、感染防止衣の購入1,320千円(600セット)、保健衛生用品等2,569千円(サージ 加2枚 22,500枚、ゴム手袋75,000枚、蘇生バ ッカマ8セット、シューズ が - 15,000枚 ほか) ④-	R2.9.25	R3.3.31	4,317,320	4,317,320	(購入数) 手指・資器材消毒剤(500ml)100本、アイソレーションフード20枚、感染防止衣(上・下)600着、シューズカバー15,000枚、ハンドソープ16.9リットル、ペーパータオル30,000枚、サージカルマスク29,250枚、ゴム手袋64,750枚、蘇生バックマスク8セット、回路用人工鼻フィルター200個、ラリゲアルチューブ25セット、感染性廃棄物専用容器スタンド8台	当消防本部の救急隊から新型コロナウイルス感染者が出ていない。救急隊に対して行った感染防護資器材の増数は隊員がよりウイルスから身を守る為の安心感にも繋がり、ウイルスに対して戦う精神的な後押しにもなった。	警防課
28	小学校普通教室等空調設備整備事業	①近年の夏季の高温等から児童の健康と学習環境を保全するとともに、感染症の発生等による夏季休業短縮に備え、全市立小学校への空調設備整備の進捗を図るもの ②空調設備設置整備費 ③空調設備設置整備費251,350千円(小学校10校) ④-	R2.9.25	R3.5.28	197,336,260	100,122,455	設置校 10校 東唐津小、鬼塚小、大良小、玉島小、平原小、厳木小、簗木小、伊岐佐小、切木小、納所小	コロナ禍のマスク着用により体感温度が上昇していたが、空調を設置することにより、児童の快適な学習環境が整った。 また、今後も流行の可能性のある新型コロナウイルス感染症の発生等による夏季休業短縮にも対応が可能となった。 教育現場からも空調設置後は児童の授業に対する集中力が違うとの報告があった。	教育総務課
29	中学校普通教室等空調設備整備事業	①近年の夏季の高温等から生徒の健康と学習環境を保全するとともに、感染症の発生等による夏季休業短縮に備え、全市立中学校への空調設備整備の進捗を図るもの ②空調設備設置整備費 ③空調設備設置整備費20,889千円(中学校1校) ④-	R2.9.25	R3.5.26	14,700,840	14,699,926	設置校 1校 湊中	コロナ禍のマスク着用により体感温度が上昇していたが、空調を設置することにより、生徒の快適な学習環境が整った。 また、今後も流行の可能性のある新型コロナウイルス感染症の発生等による夏季休業短縮にも対応が可能となった。 教育現場からも空調設置後は生徒の授業に対する集中力が違うとの報告があった。	教育総務課
30	小学校GIGAスクール推進事業	①国が推進するGIGAスクール構想の早期実現を踏まえ、小学校における児童1人1台端末と家庭でも繋がる通信環境を整備することで、ICTの活用による全ての児童の学びを保障できる環境を構築するもの ②タブレット端末の購入、ソフトウェア等賃貸借、電源キャビネットの整備、LTE利用料(通信料) ③タブレット端末の購入207,738千円(409,923千円-国庫補助対象202,185千円)、ソフトウェア等賃貸借10,789千円、電源キャビネットの整備12,625千円(102,375千円-国庫補助対象89,750千円)、LTE利用料(通信料)15,186千円 ④-	R2.9.25	R3.3.31	241,637,147	241,637,147	児童1人1台のタブレット端末の整備 備品購入費 学習用パソコン 202,062,840円 (@54,780円×7,453台)-国庫補助対象206,212,500円 使用料及び賃貸料 ソフトウェア等賃貸借 6,141,924円 ネットワークの整備 委託料 電源キャビネット整備工事(113台) 28,320,890円 (102,570,890円-国庫補助対象74,250,000円) 電信電話料 LTE通信料(7,231回線) 4,150,093円 消耗品費 HDMI変換ケーブル(380個) 961,400円	GIGAスクールタブレットの整備において、全国的に端末が不足している中でも佐賀県の共同調達により整備することで、早期納入に向けた取り組みができた。さらに、小6、中3のみ先行して分割納入させることでコロナ禍による有事の際に備え、自宅学習を行うことができるよう準備することができた。	学校支援課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
31	中学校GIGAスクール推進事業	①国が推進するGIGAスクール構想の早期実現を踏まえ、中学校における生徒1人1台端末と家庭でも繋がる通信環境を整備することで、ICTの活用による全ての生徒の学びを保障できる環境を構築するもの ②タブレット端末の購入、ソフトウェア等貸借、電源キャビネットの整備、LTE利用料(通信料) ③タブレット端末の購入99,608千円(193,388千円-国庫補助対象93,780千円)、ソフトウェア等貸借5,272千円、電源キャビネットの整備3,975千円(39,975千円-国庫補助対象36,000千円)、LTE利用料(通信料)7,185千円 ④-	R2.9.25	R3.3.31	114,882,347	114,882,347	生徒1人1台のタブレット端末の整備 備品購入費 学習用パソコン 97,327,980円 (@54,780円×3,516台)-国庫補助対象95,278,500円 使用料及び賃借料 ソフトウェア等貸借 3,134,434円 ネットワーク整備 委託料 電源キャビネット整備工事(297台) 11,618,770円 (39,868,770円-国庫補助対象28,250,000円) 電信電話料 LTE通信料(3,421回線) 2,396,363円 消耗品費 HDMI変換ケーブル(160個) 404,800円	GIGAスクールタブレットの整備において、全国的に端末が不足している中でも佐賀県の共同調達により整備することで、早期納入に向けた取り組みができた。さらに、小6、中3のみ先行して分割納入させることでコロナ禍による有事の間に備え、自宅学習を行うことができるよう準備することができた。	学校支援課
32	公民館感染症対策事業	①公民館における新型コロナウイルス感染症対策の強化に必要な資機材の整備を行うもの ②飛沫防止パーテーション等の整備、消毒液等保健衛生用品の購入 ③飛沫防止パーテーション等の整備426千円(パーテーション2枚、バ 札33枚)、消毒液等保健衛生用品の購入439千円(公民館25施設分の体温測定器、スプレーボトル容器、アルコール替替用) ④-	R2.9.25	R3.3.16	790,150	790,150	感染症対策備品・消耗品配置 (配置内容内訳) sterilパワー(弱酸性次亜塩素酸水溶液) 25公民館分80ℓ 非接触型温度計 25公民館へ各1本 スプレーボトル 25公民館へ各5本 手動式スプレーボトル 25公民館へ各2本 アルコール消毒液ベンサー 25公民館へ各1本 手指消毒用アルコール詰め替え用 25公民館へ各1本 飛沫防止仕切り用パネル(図書室配適用) 浜玉公民館(2) 蔵木公民館(4) 北波多公民館(4) 肥前公民館(4) 鎮西公民館(3) 打上公民館(8) 呼子公民館(4) 七山公民館(4) 飛沫防止仕切りパーテーション 浜玉公民館2個	公民館施設利用の際の手指消毒の習慣づけ、利用者の感染防止対策意識の向上に繋がった。 コロナ禍における社会教育の場としての公民館活動を続ける支援になった。	生涯学習文化財課
33	図書館感染症対策事業	①図書館における新型コロナウイルス感染症対策の強化に必要な資機材の整備を行うもの ②図書消毒機・入館者用自動検温装置の整備、飛沫防止パーテーション等の整備、消毒液の購入 ③図書消毒機・入館者用自動検温装置の整備2,793千円(消毒機2台、自動検温装置1台)、飛沫防止パーテーション等の整備875千円(パーテーション及びバ 札 計40台)、消毒液の購入58千円(図書館2館分の手指用、館内用消毒液) ④-	R2.9.25	R3.1.25	3,261,890	3,261,890	消耗品費 消毒液等 240,090円 備品購入費 3,021,800円 図書消毒機(6冊用) 2台 1,606,000円 非接触温度センサー 1台 495,000円 飛沫防止パーテーション 計40台 920,800円 近代図書館37台、相知図書館3台を各窓口や学習室、行事等に使用。	入館者用自動検温装置設置により、短い時間で素早く体温が計測できるうえ、非接触のため、その都度消毒する手間も削減され、衛生面でも安心して使用ができた。 図書消毒機設置により、不特定多数の人が触れる図書を安心して利用できるようになると同時に職員の手作業による本の消毒作業の負担軽減にも繋がった。 窓口等に飛沫防止パーテーションを設置することにより、対面時の飛沫感染リスクの軽減と安心感が繋がった。	近代図書館
34	地元プロスポーツチーム応援補助金	①新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されている地元プロスポーツチームを応援するため、チーム主催イベント等で配布する感染予防グッズ作製費用に対し補助するもの ②感染予防グッズ作製費用の9/10を交付対象とする ③応援補助1,800千円(上限額1,800千円×1者) ④株式会社マッシュドライブ	R2.9.25	R3.1.22	1,800,000	1,800,000	感染予防グッズ(ネックゲイター)、チームPRチラシ2,000枚作製 ※感染予防グッズは市とチームが共同して取り組んでいることが分かるデザインとしている。 補助対象経費 2,013,000円 補助金額 1,800,000円	チーム主催イベント等参加者に感染予防グッズとチームPRチラシを配布することで、競技の普及振興、イベントの魅力増進、ファン獲得、チーム支援(スポンサー)企業へのPRにつなげることができた。	スポーツ振興課
35	唐津市文化体育館感染症対策事業	①新型コロナウイルス感染症対策に必要な機器を整備するもの ②入館者用自動検温装置整備費 ③入館者用自動検温装置整備費659千円(唐津市文化体育館1台) ④-	R2.9.25	R2.12.28	220,000	220,000	入館者用自動検温装置 1台 購入金額 220,000円	社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインに基づき施設管理者が準備すべき事項として、非接触型温度測定器を設置し利用者の体温管理が適切に実施できた。	スポーツ振興課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
36	唐津産佐賀牛販売促進緊急支援補助金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により外食産業を中心に消費が低迷し、流通が停滞している佐賀牛の販売促進のため、家庭内消費を喚起する活動に対し補助するもの ②佐賀牛の家庭内消費を喚起する活動に係る経費を交付対象経費とする ③補助金15,000千円(唐津産佐賀牛の3,000円相当のバックを、1,000円割引(市が1/3補助)して、15,000バック販売) ④肥育牛生産者団体	R2.4.28	R2.7.22	15,000,000	15,000,000	JAからつ肥育牛部会による唐津産佐賀牛の半額キャンペーンに補助を行った。 事業費 53,228,478円 販売実績 唐津産佐賀牛 約3,170円相当×16,788バック 販売額 26,614,239円(通常価格53,228,478円×1/2) 来客者数 4,825人 補助金額 15,000,000円(補助限度額)	通常価格の半額で唐津産佐賀牛を販売するキャンペーンを行ったことで、市内消費者の「唐津産/佐賀牛の認識を深めるとともに、佐賀牛の家庭内消費を喚起し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費が低迷している佐賀牛の販売促進を図ることができた。	農政課
37	漁業用燃油購入緊急支援補助金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により漁業収入が減少し、経営が圧迫されている漁業者への支援を行うことで、漁業活動への意欲を維持し、市の水産業の持続を図るもの ②4月～5月の漁業活動に要した燃油購入費を交付対象とする ③補助金額20,129千円(漁業活動に要した燃油購入費の1/2、補助対象件数387件)、事務費77千円 ④市内漁業協同組合の正組合員	R2.4.28	R2.7.21	20,205,581	20,205,581	決算額 20,205,581円 漁協内訳 申請数 漁協補助(内漁協事務費) 佐賀玄海漁業協同組合 325件 17,818,834円(65,000円) 大浦浜漁業協同組合 19件 499,459円(3,800円) 小川島漁業協同組合 43件 1,887,238円(8,600円) 合計 387件 20,205,581円(77,400円)	アンケート調査を実施した結果、総合的にみて、漁業者へ良い影響があり、漁業者の持続的な漁業活動への意欲の維持につながったと考えられる。	水産課
38	創業・経営力向上支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた市内事業者の事業継続、経営の安定及び改善、業態転換などを支援するため、市が運営する経営相談窓口の体制を強化するもの ②経営相談窓口(常設窓口、臨時・訪問対応、外部専門家対応)の拡充 ③経営相談窓口業務委託料の追加4,432千円 ④-	R2.4.28	R3.3.31	4,431,020	4,394,000	拡充分実績【全体実績】 常設開設日(毎週水曜日) 48日[99日] 臨時相談対応 80件[140件] 成長初期企業等訪問対応 13件[37件] 外部専門家派遣 0件[24件] 全体相談者数 53名 全体相談件数 延べ365件(創業相談71件、経営相談294件)	小規模持続化補助金やものづくり補助金などの支援策の拡充に対する相談に対応し、市内事業者の事業継続・業態転換の支援につながった。事業者への聞き取り等により、創業・起業に対する相談、特に創業後のフォローアップに対応し、コロナ禍における事業者の経営改善や不安解消につなげることができた。市報や行政放送などで定期的に広報を行うとともに、相談窓口の利用者で創業した人の特集記事を市報に掲載することで、相談件数の増加につながった。	企業立地課
39	中小企業・小規模企業者持続化支援助成金	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により経営環境が悪化している市内事業者の事業継続を支援するため、助成金を交付するもの ②事業継続の意思がある事業者に対する助成金 ③助成金102,478千円(2～5月分の上下水道基本料金相当額 1事業所当たり水道の契約口径等により、約12千円～226千円、想定事業所数5,548事業所)、事務費2,259千円 ④市内に事業所を有する中小・小規模企業者	R2.4.28	R2.10.30	42,660,960	42,660,960	助成実績 件数 2,632事業者 助成額 40,773,696円 地区別内訳(件数)【金額】 唐津(1,808) [29,201,376] 浜玉(218) [3,099,584] 巖木(51) [633,456] 相知(106) [1,407,192] 北波多(66) [810,436] 肥前(93) [1,234,644] 鎮西(116) [1,640,988] 呼子(150) [2,468,292] 七山(24) [277,728] 事務経費 1,887,264円	コロナ禍における一時的な経済支援につながった。加算助成金、応援助成金と合わせた形で商工団体の各分会へアンケート調査を行ったところ、幅広い業種が対象であったこと、影響を受けた直ぐの対応がタイムリーであったことを評価いただいた。	商工振興課
40	公立学校情報機器整備費補助金	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①小中学校におけるICT環境整備の設計やルールの作成などを行うためGIGAスクールサポーターを配置するもの ②GIGAスクールサポーターの配置に要する経費 ③人件費 450,000円×3ヵ月×12人×1.1、旅費10,000円×3ヵ月×12人×1.1、通信運搬費10,000円×3ヵ月×12人×1.1 ④-	R2.9.25	R3.3.31	18,216,000	9,108,000	委託料(第1期～第3期) 12名 53校 18,216,000円 (内訳) 小学校 12名 34校/53校 11,685,600円 中学校 12名 19校/53校 6,530,400円	GIGAスクールサポーター配置により、小中学校におけるICT教育の環境整備やルールの構築が行えた。校務支援等についても、GIGAスクールに向けた研修会等を開催することができた。また、コールセンターを設けることで、学校が問い合わせる際に、当課に問い合わせが来ていた分、いち早く対応可能になったことで、学校現場の混乱を解消し、業務の負担軽減にもつながった。	学校支援課

No	交付対象事業の名称	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	決算額 (円)	うち交付金 充当額 (円)	実施状況	効果検証	所管課
41	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①小学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化や教職員の研修・児童の学習保障に必要な資機材を整備するもの ②感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 ③感染症対策等の学校教育活動継続支援事業31,600千円(小学校34校分のマスク、消毒液、体温計、手袋、除菌シート、空気清浄機、教職員研修経費、学習保障のための用紙・プリンターほか) ④-	R3.3.23	R4.3.31	31,593,648	15,623,000	対象校 唐津市立小学校全34校(分校含む) 実績額 消耗品費16,230,315円、備品購入費15,363,333円 購入物品 保健衛生用品 アルコール消毒液、学校机飛沫防止ガード、サーマルカメラ、 減菌機など 学習保障用品 PCタブレットケース、再生紙(家庭学習用)、大型モニター、 ストープなど	アルコール消毒液を整備したことにより、手指や共用物品の消毒を習慣化し、学校における感染症対策に努めた。また、学校内で感染者が出た場合においても、速やかに消毒作業を行い、感染拡大防止につながった。 学校机飛沫防止ガードを整備したことにより、授業や給食の時間のような飛沫が飛びやすい時間においても、安心して学校生活を送ることができた。 サーマルカメラを学校入口に設置することにより、児童、教職員、来校者の体温を確認し、感染の疑いがある者の校舎内への立ち入りを防ぐことができた。 減菌機を整備したことにより、使いまわしによる感染を防いだ。 PCタブレットケース、再生紙や大型モニターを整備することにより、学級閉鎖等のより登校できない場合においても、充実した家庭学習を行い、児童の学びの保障につながった。 ストープを整備することにより、換気による寒さ対策を行い、児童の体調管理につながった。	学校支援課
42	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①中学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化や教職員の研修・生徒の学習保障に必要な資機材を整備するもの ②感染症対策等の学校教育活動継続支援事業 ③感染症対策等の学校教育活動継続支援事業17,200千円(中学校19校分のマスク、消毒液、体温計、手袋、除菌シート、空気清浄機、教職員研修経費、学習保障のための用紙・プリンターほか) ④-	R3.3.23	R4.3.31	17,197,622	8,515,000	対象校 唐津市立中学校全19校(分校含む) 実績額 消耗品費6,848,378円、備品購入費10,349,244円 購入物品 保健衛生用品 アルコール消毒液、学校机飛沫防止ガード、サーマルカメラ、 減菌機など 学習保障用品 PCタブレットケース、再生紙(家庭学習用)、大型モニター、 ストープ	アルコール消毒液を整備したことにより、手指や共用物品の消毒を習慣化し、学校における感染症対策に努めた。また、学校内で感染者が出た場合においても、速やかに消毒作業を行い、感染拡大防止につながった。 学校机飛沫防止ガードを整備したことにより、授業や給食の時間のような飛沫が飛びやすい時間においても、安心して学校生活を送ることができた。 サーマルカメラを学校入口に設置することにより、児童、教職員、来校者の体温を確認し、感染の疑いがある者の校舎内への立ち入りを防ぐことができた。 減菌機を整備したことにより、使いまわしによる感染を防いだ。 PCタブレットケース、再生紙や大型モニターを整備することにより、学級閉鎖等のより登校できない場合においても、充実した家庭学習を行い、生徒の学びの保障につながった。 ストープを整備することにより、換気による寒さ対策を行い、生徒の体調管理につながった。	学校支援課
43	中小・小規模企業者感染症拡大防止等支援補助金	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の維持の両立を図るため、市民が安心して利用できる店づくり、安心して仕事ができる事業所づくりとして「新しい生活様式」に対応する取組みに対し補助金を交付するもの ②「店舗や事務所等の感染症防止対策のための改修工事や設備導入等の取組み」、「新しい生活様式」に対応する新業態への取組みに係る経費の9/10を交付対象とする ③新しい生活様式対応支援補助金2,710,000千円(上限額 1事業所当たり500千円×5.42事業所分)、事務費2,418千円 ④市内に事業所を有する中小・小規模企業者	R2.12.21	R3.5.27	265,955,393	253,508,393	地区別内訳(件数) 唐津(486)浜玉(47)巖木(4)相知(22)北波多(9) 肥前(11)須石(25)呼子(39)七山(9)計(652) 業種別内訳 飲食店業(200)卸売・小売業(139)サービス業(102) 建設業(64)製造業(38)医療・福祉(35)宿泊業(34) その他(40) 計(652) 補助金額 263,623,000円 事務経費 2,332,393円	前回の施策見直しにより、広い範囲で事業者への補助ができた。 自己資金による感染防止対策ができない事業者からは思い切った対策ができ、助かりましたとの声があった。 市内事業者に依頼するような制度設計をしていたため、市内経済の刺激に繋がった。 ECサイトやテイクアウトへの業態転換の支援につながった。	商工振興課
44	感染症対策事業①	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のために必要な資材の購入等を行うもの ②市役所庁舎感染症対策費、公民館感染症対策費ほか ③市役所庁舎感染症対策費:1,323千円(非接触型高精度センサー足踏み式消毒機12台、マスク、消毒液ほか)、公民館感染症対策費:1,917千円(網戸設置6館) ④-	R2.4.1	R3.3.31	3,217,200	3,217,200	市役所感染症対策費 1,323,000円 非接触型センサー足踏み式12台、サージカルマスク、手指消毒液等の購入 公民館感染症対策費 1,894,200円 志道公民館 網戸11枚 レール4ヶ所 203,500円 北波多公民館 網戸22枚 レール20ヶ所 275,000円 肥前公民館 網戸23枚 レール23ヶ所 682,000円 鎮西公民館 網戸13枚 レール8ヶ所 342,100円 打上公民館 網戸7枚 レール2ヶ所 160,600円 七山公民館 網戸15枚 231,000円	感染対策を行い開庁することで、市民の方に安心して来庁してもらえるようになった。 室温(37.5℃以上でセンサーが鳴る)感知センサーの設置により、発熱者が来庁した場合はすぐ対応できるようになった。 手指の消毒液をポンプ式から足踏み式にしたことで衛生面が改善した。 公民館施設利用の際の換気の習慣づけ、利用者の感染防止対策意識の向上に繋がった。コロナ禍における社会教育の場としての公民館活動を続ける支援になった。	総務課 生涯学習文化財課